

グローバルセミナー2017



地域で育むグローバル市民
～出会い、つながり、そして共生へ～



世界は今、多様性に対して非寛容な社会へと変わりつつあるように見えます。異文化と「出会い」、様々な世界や人々と「つながり」、多様性を受け入れて行けば、その先にどんな「共生社会」が描けるか…

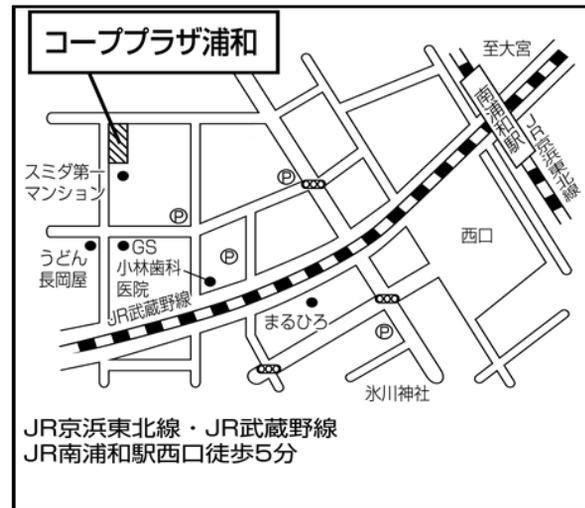
教育実践例や若者たちの体験などをもとに、みんなで考えてみよう。

日時：2017年2月12日(日) 10:00 ~ 16:45

会場：コーププラザ浦和

〒336-0018 さいたま市南区南本町 2-10-10
TEL.048-823-3933

- 対象：若者(中・高・大学生・社会人)、教員、NGO関係者、在住外国人、関心のある方どなたでも
- 参加費：無料
- 定員：先着80名
- 主催：埼玉国際協力協議会(埼玉NGOネット)
独立行政法人 国際協力機構 JICA東京
公益財団法人 埼玉県国際交流協会(SIA)
- 後援：埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会、生活協同組合コープみらい埼玉県本部



お申込み・お問合せ

参加申込書のFAX、E-mail、またはホームページからお申込みいただけます。
お問合せは、公益財団法人 埼玉県国際交流協会 内 JICA 埼玉デスク(担当:廣瀬)までお願いします。

TEL:048-833-2992 / FAX:048-833-3291

E-mail: saitama-desk_hirose@friends.jica.go.jp

<http://www.saitama-ngonet.org/>

埼玉NGOネット

検索

プログラム

10:00 開会挨拶 JICA東京、埼玉県国際交流協会

10:10 第1部

◆ 学校現場での国際理解教育実践例

発表：2016年度JICA教師海外研修参加教員
 小学校教員2名(モンゴル派遣)、中・高教員3名(タイ派遣)
 ～学校現場で児童生徒たちに何をどう伝えたか、その反応は？～



12:00 昼休み

13:00 第2部

◆ パネルディスカッション

若者の異文化体験から～出会い、つながり、そして共生へ～

ファシリテーター：福田 訓久(株式会社メディア総合研究所)

パネリスト

- 1) 浅香 翔太(社会人) : 大学横断的ボランティア組織JLB(Japan Local Buddy)を起ち上げ、外国人観光客の案内を通して国際交流を進める。
- 2) 大石 真也(大学3年生) : 高校1年生時にNGOのマレーシアスタディツアーに参加したことをきっかけに、国際関係へのチャレンジを決意。2016年度内閣府「国際青年育成交流プログラム」でラオスに派遣される。
- 3) 光成 奈々子(大学4年生) : 大学でラオス語を専攻、ラオスにて6か月間、国際協力NGOの現地事務所でインターンを経験する。
- 4) 福永 翔子(大学4年生) : 3年生時、文科省の官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN」に自ら企画提案して採用され、6か月間フィリピン・セブ島にて、留学生 & ボランティアとして活動を行う。
- 5) 廣瀬 勝弘(社会人) : 青年海外協力隊(ヨルダン)OB。現在、「JICA埼玉デスク」として勤務中。

14:20 休憩

14:25 ◆ グループワーク

“出会い、つながり、そして共生へ”の具体的プランニング

ファシリテーター：福田 訓久

余語 和貴(大学3年生、グローバルファシリテーター養成塾第一期生)



15:40 休憩

15:45 ◆ グループワークの発表とふりかえり、全体のまとめと今後への提言

16:45 閉会

< 参加申込書 >

FAX、E-mail、またはホームページからお申込みください。E-mailの場合、下表の項目をご記入ください。受信をもって申込みは完了となります。定員を超えた場合のみ、当方よりご連絡させていただきます。

FAX : 048-833-3291

<http://www.saitama-ngonet.org/>

E-mail : saitama-desk_hirose@friends.jica.go.jp

埼玉NGOネット

検索

氏名	個人・学校名・ 所属団体名等		
住所	(いずれかに○ / 学校・事務所・自宅) 〒		
TEL	FAX		
E-mail			

* 申込者の名簿は主催団体が管理し、次回以降のグローバルセミナーの案内以外には使用しません。